

## 6 年理科 学習指導案 略案

指導者 根 布 谷 隆

1. 日時 1月30日(月) 3校時10:50~11:35

2. 単元名 水よう液の性質とはたらき

3. 本時の実際

(1) ねらい 身近な雪(雨)の酸性の強さを調べたり、資料を見たりして、酸性雪(雨)が自分たちの身近な問題であることに気づくことができる。

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教 師 の 支 援	指導主事の先生との関わり
10:50	1 酸性雨と酸性雨の被害について知る。 ・児童の夏休み自由研究の発表。  2 課題を確認する。	・課題に向かう意欲がもり上がるように、実際に酸性雨(雪)が降っているのかについて、懐疑的な考えをもっている児童に、できるだけ話をしてもらおう。	
わたしたちの周りにも、酸性雪(雨)は降っているのかな？			
11:05	3 持ち寄った雪をとかした水の酸性の強さを調べる。 ・できるだけ自分で選んだ方法で調べる。 リトマス紙(で調べる) ムラサキキャベツの液 B T B 溶液 紅茶の色 パックテスト pHメーター...等	・「パックテスト」や「pHメーター」は初めて使う方法なので、やり方をすぐに確かめられるように、カードに書いた物を置いておく。 ・「pHメーター」は、壊れるとあとの児童が調べられなくなるので、とくに目を配り、使い方を指導する。  ・雪をとかした水 を準備できなかった児童がいる場合を考え、予備のサンプルを準備しておく。  ・実験中に物を丁寧に扱うことや、実験後に物を整頓しておくことは、継続した学習なので、様子を見ながら適宜注意する。	
11:20	4 調べて分かったことを発表し、気がついたことを話し合う。	・酸性雪(雨)は近くに道路-車-があるなしに関わらず、身近な問題となっていることを助言する。	・現在、酸性雨は、秋田県や日本で本当に降っているのか教えていただきたい。
11:25	5 車の排気ガスを水にとかした液が、酸性になることを演示する。	・事前に、ゴミ袋に集めておいた排気ガスを、水にとかしたものを取り出す。その後、pHメーターなどで酸性度を調べる。	
11:30	6 調べたことや話し合ったことについての感想を書き、発表する。	・発表が酸性雨問題にとどまらず、他の環境問題へも関心が広がった場合は、今後、環境を守っていくための意欲や態度につながる事なので、話を無理に酸性雨に限定しないように配慮する。	・酸性雨の原因や、環境を守るために自分たちのできることを、教えていただきたい。
11:35			

